

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	伝統的ものづくり支援事業		
部 局 名	創造都市推進局	課(室)名	産業振興課
		電話番号	087-839-2411

【事業全体概要】まちづくりの目標：人がにぎわい活力あふれるまち

総合計画	政策	地域を支える産業の振興・地域経済の活性化		主体	市
	施策	特産品の育成・振興とブランド化の推進		期間	平成 26年度～平成 27年度
	基本事業	特産品の育成・振興		総事業費	35,039
	重点取組項目	重点取組課題 8		特定財源	国
	関連根拠法令等	高松市伝統的ものづくり振興条例			県
	事業区分	自治事務	種 別	市中・事後	市債
	事業種類	単独			他
				一般	1,011
					34,028
事業の概要	盆栽・漆器・石製品を始めとする、高松市伝統的ものづくり事業の振興のため「高松市伝統的ものづくり振興条例」の基本理念に基づき、本市の特色ある伝統文化の継承及び発展に寄与するため、普及啓発、販路拡大や次世代を担う人材の確保・育成を図る。				

【事業の目的と指標】

対象	対象となる事業者及び売上高	対象指標名	盆栽・漆器・石製品(三大地場産業)の組合員数
手段	伝統的ものづくりについて、ワークショップ等の事業を開催し、普及啓発を行うとともに、見本市・展示会・イベント等へ参加し、販路拡大を図る。	活動指標名	普及啓発事業開催件数 販路拡大事業出展等件数
意図	伝統的ものづくりの普及啓発・販路拡大	成果指標名	普及啓発事業等参加人数 販路開拓事業等来場者数
結果	伝統的ものづくりの活性化・産業化	効率指標名	トータルコスト100万当たりの普及啓発事業件数

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	事業者		381	358	400	
活動指標	件		18	24	30	
	件数		5	6	8	
成果指標	件		515	602	750	
	人		17,600	38,016	20,000	
効率指標	件		1.18	1.24	2	
トータルコスト	[千円]		15,378	19,661		
(事業費)	[千円]		7,628	10,065		
(職員人件費)	[千円]		7,750	9,596		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
生活様式の多様化による消費傾向の減少や担い手の減少などから伝統的ものづくりを取り巻く環境は厳しさを増している。	事業者・従業員は減少しており、長い歴史の中で培われてきた技術や技法等を次代に引き継いでいくことが困難になっている。また、生活様式とのミスマッチからくる需用の低下も見られる。	今後も事業者・従業員の減少が見込まれており、事業者間での連携や地域連携・情報発信方法等の変革が必要であり、商品開発も含め、新たな価値創造が求められることが予想される。	伝統的ものづくりの振興により、本市の特色ある伝統文化の継承及び発展に寄与することが求められている。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か A 法令等により市が実施しなければならない 本事業は、平成26年3月に制定した「高松市伝統的ものづくり振興条例」に定める基本理念や基本的施策に基づき実施するものであり、同条例には、市が果たすべき責務が定められている。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか A 貢献度が大きい 伝統的ものづくりの振興を図ることにより、特産品の育成・振興とブランド化の推進につながる。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか B 必要性は中程度 伝統的ものづくりの活性化を図る上で、対象は拡充・縮小する必要はないが、普及啓発や販路拡大のための事業は、拡充の余地がある。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか A 影響は大きい 伝統的ものづくり産業の低迷は現在著しく、普及啓発、販路拡大を振興していくためには、行政支援が不可欠な状態にあるため、影響は大きい。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか） A 事業のプランづくりの段階からNPO、市民団体が参加している 伝統的ものづくり振興事業の推進を進める上で、関係団体との連携は不可欠であり、市民等が参画する審議会での意見や事業者等へのヒアリング結果等を参考に事業を計画実施している。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか B 向上余地が考えられる（中小程度） これまでの取組みにより、成果指標値は向上しているところであり、今後、各種取組みを更に効果的に実施することにより、向上余地が考えられる。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか） A 実施済み/実施する必要がなかった 今年度事業における課題点等を踏まえて、新規事業を立案し次年度において実施予定としている。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか C 概ね達成できた 普及啓発事業等参加人数については、達成できなかったが、販路開拓事業等来場者数については、目標値を大幅に上回って達成することができた。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか C 概ね達成できた 事業件数については、達成できなかったが、ミラノ万博盆栽トップセールスに関する事業では、香川県や各団体と連携して実施した結果、マスコミの取り扱い数や、海外からの問い合わせが増加するなど、事業毎に一定の成果を上げることができている。
10. コスト縮減ができたか B 縮減できた ミラノ万博盆栽トップセールス事業の旅費については、当初予算より、コストを縮減し実施できた。

【一次評価】

評価区分	継続																							
伝統的ものづくり事業者や、審議会からの意見を踏まえ、普及啓発、販路拡大に並行して、事業者の事業環境整備、次世代を担う人材の確保等を積極的かつ効果的に行う必要があり、継続実施が妥当である。																								
改革案																								
内容	阻害要因なし																							
内容	阻害要因																							
期待効果																								
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加		向上					維持					低下			
成果				コスト																				
		削減	維持	増加																				
	向上																							
	維持																							
	低下																							

【二次評価】

評価区分	継続
地域経済の活性化のため、本市の重要な産品の伝統を守り、発展させる取組が必要であり、本事業の継続実施は妥当である。	